

氏名	若林チヒロ	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	生活科学、健康社会学				
学位	修士（家政学）				
学歴	1988年お茶の水女子大学卒業、1991年お茶の水女子大学院修士修了、1996年東京大学大学院医学系研究科単位取得退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科助手、2005年健康開発学科健康行動科学専攻講師、2011年同准教授・2017年同教授				
所属学会（役職）	日本エイズ学会、日本公衆衛生学会、日本保健医療社会学会、日本疫学会、日本社会福祉学会、日本アフリカ学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	ガーナ人—アフリカと日本—to ルーツをもつ人々と新たなガーナ人移民たち. 『移民・ディアスポラ研究』第9号・特集「変容する移民コミュニティ：空間・階層・時間の3つの軸から」	共著	あり	明石書店	若林チヒロ著、駒井洋監修/小林真生編	2020.7	
2	公衆衛生マニュアル2021 第13章健康づくり	共著	あり	南山堂	若林チヒロ著、中村好一、佐伯圭吾編	2021.3	
3	公衆衛生マニュアル2021 統計資料	共著	あり	南山堂	若林チヒロ著、中村好一、佐伯圭吾編	2021.3	
4	基礎から学ぶ健康管理概論（改定第5版）第4章人口動態統計	共著	あり	南江堂	若林チヒロ著、尾島孝之、堤明純編	2021.3	
5	基礎から学ぶ健康管理概論（改定第5版）第5章人口動態統計	共著	あり	南江堂	若林チヒロ著、尾島孝之、堤明純編	2021.3	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	HIV陽性者の子どもを持つことへの思いと医療機関における相談・情報提供の実状	共著	あり		エイズ学会誌, 22(2),	細川陸也,井上洋士,戸ヶ里泰典,阿部桜子,片倉直子,若林チヒロ,大木幸子,山内麻江,塩野徳史,米倉佑貴,大島岳,高久陽介	2020.5
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	1. 健康状態15年間の変化—「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」（第1報）	共同		第79回日本公衆衛生学会、オンライン	若林チヒロ, 大木幸子, 生島嗣	2020.10	
2	2. 地域におけるHIV検査—同上（第2報）	共同		第79回日本公衆衛生学会、オンライン	生島嗣, 大木幸子, 若林チヒロ	2020.10	
3	3. 高齢期の備えと関連要因—同上（第3報）	共同		第79回日本公衆衛生学会、オンライン	大木幸子, 若林チヒロ, 生島嗣	2020.10	
4	第1回(2003年)～第4回(2019年)「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果にみる陽性者のQOL	単独		第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	若林チヒロ	2020.11	
5	HIV陽性者の基本的属性—「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から（第1報）	共同		第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	若林チヒロ、池田和子、杉野祐子、谷口紅、中濱智子、東政美、生島嗣	2020.11	
6	HIV陽性者の情報のUp dateにおける課題～同上（第2報）	共同		第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	中濱智子、東政美、池田和子、杉野祐子、谷口紅、生島嗣、若林チヒロ	2020.11	

7	HIV陽性者の高齢化と介護一同上（第3報）	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	東政美、中濱智子、池田和子、杉野祐子、谷口紅、生島嗣、若林チヒロ	2020.11
8	HIV陽性者の併存疾患と受診行動一同上（第4報）	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	杉野祐子、谷口紅、池田和子、東政美、中濱智子、青木孝弘、田沼順子、生島嗣、若林チヒロ	2020.11
9	HIV陽性者の病名開示ー「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から（第5報）	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	谷口紅、杉野祐子、池田和子、東政美、中濱智子、青木孝弘、田沼順子、生島嗣、若林チヒロ	2020.11
10	薬害被害者の精神健康一同上（第6報）	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	池田和子、杉野祐子、谷口紅、東政美、中濱智子、青木孝弘、田沼順子、生島嗣、若林チヒロ	2020.11
11	HIV検査と告知時期に関する考察ー「HIV陽性者の健康と生活に関する全国調査」の結果から	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	生島嗣、三輪武史、大槻智子、山口正純、大木幸子、若林チヒロ、樽井正義	2020.11
12	HIV陽性と就労に関する考察一同上	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	生島嗣、三輪武史、大槻智子、山口正純、大木幸子、若林チヒロ、樽井正義	2020.11
13	40歳以上のHIV陽性者の将来の介護場所の希望と関連要因一同上	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	大木幸子、若林チヒロ、斎藤可夏子、生島嗣	2020.11
14	HIV陽性者における薬物使用パターンの経時的変化一同上	共同	第34回日本エイズ学会学術集会シンポジウム、オンライン	山口正純、三輪武史、大槻知子、大木幸子、生島嗣、若林チヒロ、樽井正義	2020.11

（4）その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	書評「パラドクスとしての薬害エイズー医師のエートスと医療進歩の呪縛」（種田博之著，新曜社）	単著	日本保健医療社会学雑誌	若林チヒロ	2021.2

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業 H30-エイズー一般-004）	地域においてMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策、分担研究「HIV陽性者の健康と生活に関する実態調査」	研究分担者	2018.4～2021.3
2	日本学術振興会 文部科学研究費補助金 基盤研究（B）	HIV陽性者の肯定的対処と＜生＞再構築を促す統合的Web支援ツール開発と評価	研究分担者	2017.4～2021.3

3. 教育業績

（1）講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	健康行動科学入門Ⅰ		1	1年次の専門必修. 健康行動科学の専門領域と自身の専門紹介
2	健康情報リテラシー1	○	15	1年次の専門必修. 情報の収集と提供の基礎について
3	健康行動科学入門Ⅱ	○	5	2年次の専門必修. 健康行動科学の専門と社会活動について
4	健康科学3（健康社会論）	○	15	2年次の専門必修. 社会的健康、健康と社会とのかかわりについて
5	健康政策論	○	15	3年次の専門必修. 健康関連の政策について
6	専門文献購読	○		3年次の専門必修. 文献抄読. 取り纏め担当のみ

（2）演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	課題別演習Ⅰ		15	3年次の専門必修. 少人数でのゼミ、ディスカッション
2	課題別演習Ⅱ		15	3年次の専門必修. 少人数でのゼミ、ディスカッション
3	卒業研究	○	30	卒論生5名の論文指導

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア実習		15	1年生対象の全学科実習（今年度はリモート）
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.3	主指導 5名	副指導 0名
2	修士論文		主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文		主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本学術振興協会	文部科学研究費補助金審査（学術公表：図書・データベース）審査員		公表可能年経過済み
2	日本学術振興会	特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員候補者選考委員会書面審査員		2019.7-2021.6
3	日本家族計画協会	研究倫理審査委員会 心理社会領域審査員		2020.4-2021.3
4	日本エイズ学会	代議員		2020.11-2021.10
5	日本社会福祉学会	査読委員		2020.4-2021.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	ガーナ共和国日本語寺子屋	ガーナ共和国で日本語を学ぶ学生・生徒と、本学健康行動科学専攻学生とのリモート交流会(3回)	2020.4～2020.10
2	地域貢献活動	非営利活動法人ふれいす東京活動報告会	活動報告講演「健康と生活調査にみるHIV陽性者の生活に関する全国調査報告」	2020.6.27
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	健康行動科学専攻専攻長		2019.4～2021.3
2	学生支援	学年担当		2017.4-2021.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員		2020.4～2021.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス等での専攻説明		2020.4～2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			